

認知症の課題・ニーズについて

令和元年11月22日

認知症イノベーションアライアンス
ワーキンググループ事務局

共生ソリューションの社会実装に向けた整理イメージと論点

1. 課題マップの整理

- ソリューションはステークホルダー（本人・介護従事者・家族・自治体・地域）の課題・ニーズに込えていること必要。

【論点】

- ✓ 生活手段における主要なテーマと、課題感・ニーズの現状イメージは、どのような整理ができるのか。
- ✓ ステークホルダーごとに課題の特徴はあるか。
- ✓ その中で重要な領域であったり、ニーズが満たされていない領域はどこか。
- ✓ 課題は高齢者一般の課題なのか、認知症特有の課題なのか。

2. 社会的・経済的インパクト

- ソリューションの持つ経済的インパクトを適切に把握することが必要。

【論点】

- ✓ ステークホルダーごとにどのような特徴があるか。評価指標にどのような差があるか。
- ✓ 特別な製品・サービスを必要とするかどうか。
- ✓ 誰がそのソリューションの需要者たりえるのか。

3. 経済的持続可能性

- ソリューションの経済的持続可能性を考慮し、マネタイズするモデルであることが必要。

【論点】

- ✓ マネタイズのモデルとしては具体的にどのようなものが想定されるのか。
- ✓ ビジネスを推進するにあたって整備すべき協調領域はどこか。
- ✓ ソリューションの効果を測定できるのか。

前回資料

課題・ニーズの整理マップイメージ

- ソリューションはステークホルダーの課題・ニーズをとらまえていることが必要。課題に関する全体マップを今後作成していきたい。

本人の状態 テーマ	健常	主観的認知機能障害	軽度認知障害 (MCI)	認知症 (AD)
経済活動に関する課題		特殊詐欺被害の早期発見・予防・迅速な対処	金銭管理能力の低下 (引き出し・通帳管理)	貯金活用が困難になる 相続 (遺言者の認知能力の担保・補完・備え)
住まい関係の課題	自然と健康になる住まい 家族・地域とのコミュニケーション支援		認知機能や視力・聴力の低下が見られても暮らしやすい住まい	適切な介護・ケアサービスの利用
移動関係の課題		ラストワンマイルの移動補完 運転サポート		認知機能が低下しても活用できる移動手段の確保
本人社会参画課題への対応			地域における集いの場の整備	
周囲で支える人 (家族・地域包括ケア主体) の課題			見守り (異常検知) 遠隔コミュニケーションツール	徘徊対応

※赤色は認知症特有・青色は認知症特有では無いもののイメージ

【主な論点】

✓ 整理イメージについてアドバイスをいただきたい。また、重要な領域・満たされていない領域はどこか。

課題・ニーズマップの整理

課題・ニーズの整理マップイメージ ver.2

※赤色は認知症特有・青色は認知症特有では無いもののイメージ

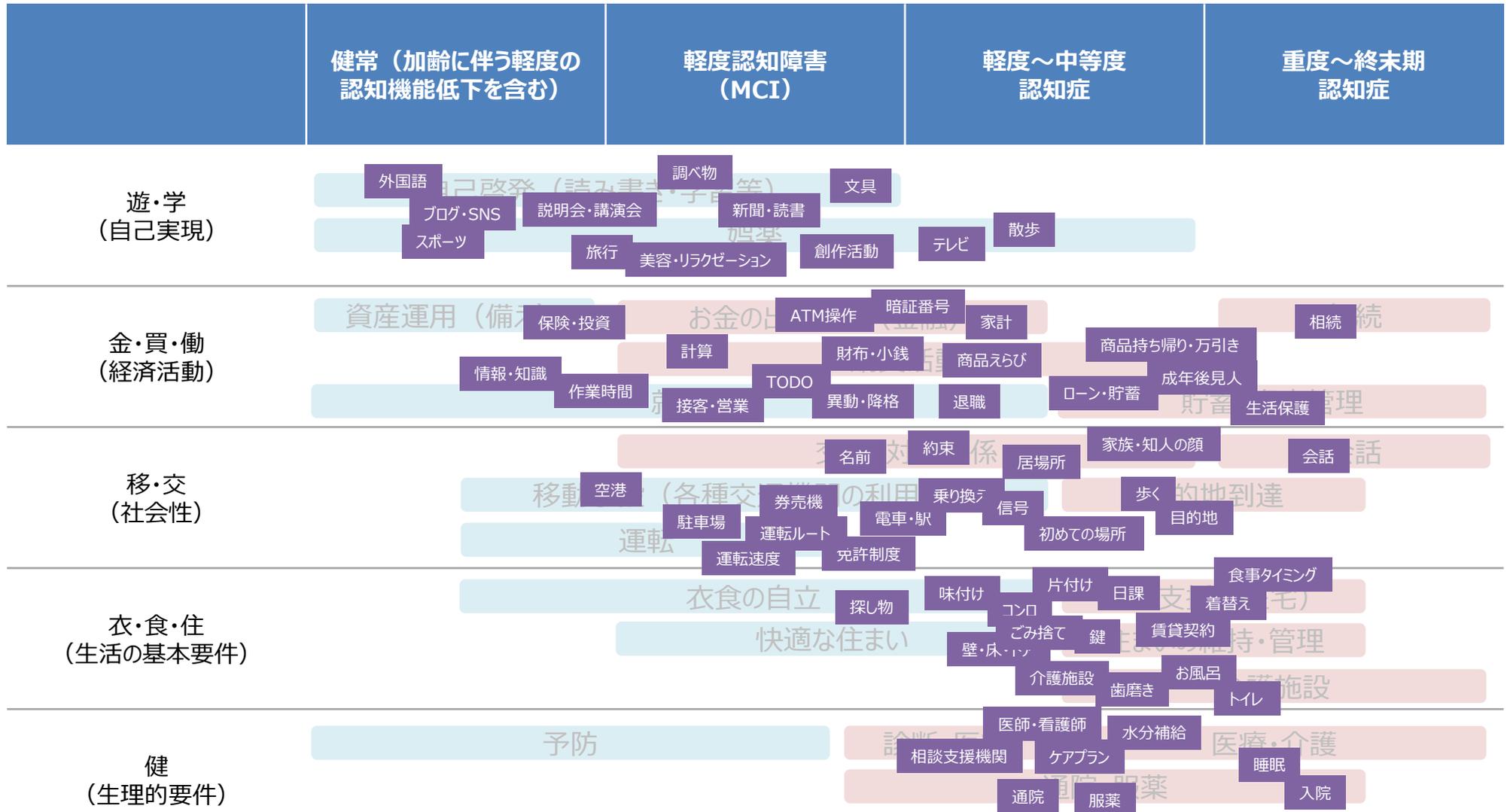
- 認知症の人にとっての生活課題・ニーズのみを抽出し、5階層（自己実現・経済活動・社会性・生活基本要件・生理的要件）に整理。

	健常（加齢に伴う軽度の認知機能低下を含む）	軽度認知障害（MCI）	軽度～中等度認知症	重度～終末期認知症
遊・学 （自己実現）	自己啓発（読み書き・学習等）		娯楽	
金・買・働 （経済活動）	資産運用（備え）	お金の出し入れ（金融）		相続
	購買活動			
	就労		貯蓄・資産管理	
移・交 （社会性）	交友・対人関係			会話
	移動手段（各種交通機関の利用等）		目的地到達	
	運転			
衣・食・住 （生活の基本要件）	衣食の自立		衣食支援（在宅）	
	快適な住まい		住まいの維持・管理	
			介護施設	
健 （生理的要件）	予防		診断・医療	医療・介護
			通院・服薬	

課題・ニーズの整理マップイメージ ver.2

※赤色は認知症特有・青色は認知症特有では無いもののイメージ

- 認知症の人の生活課題項目をマップ上にプロット。家族構成等によって認知症の人の課題・ニーズは変化することには留意する必要がある。

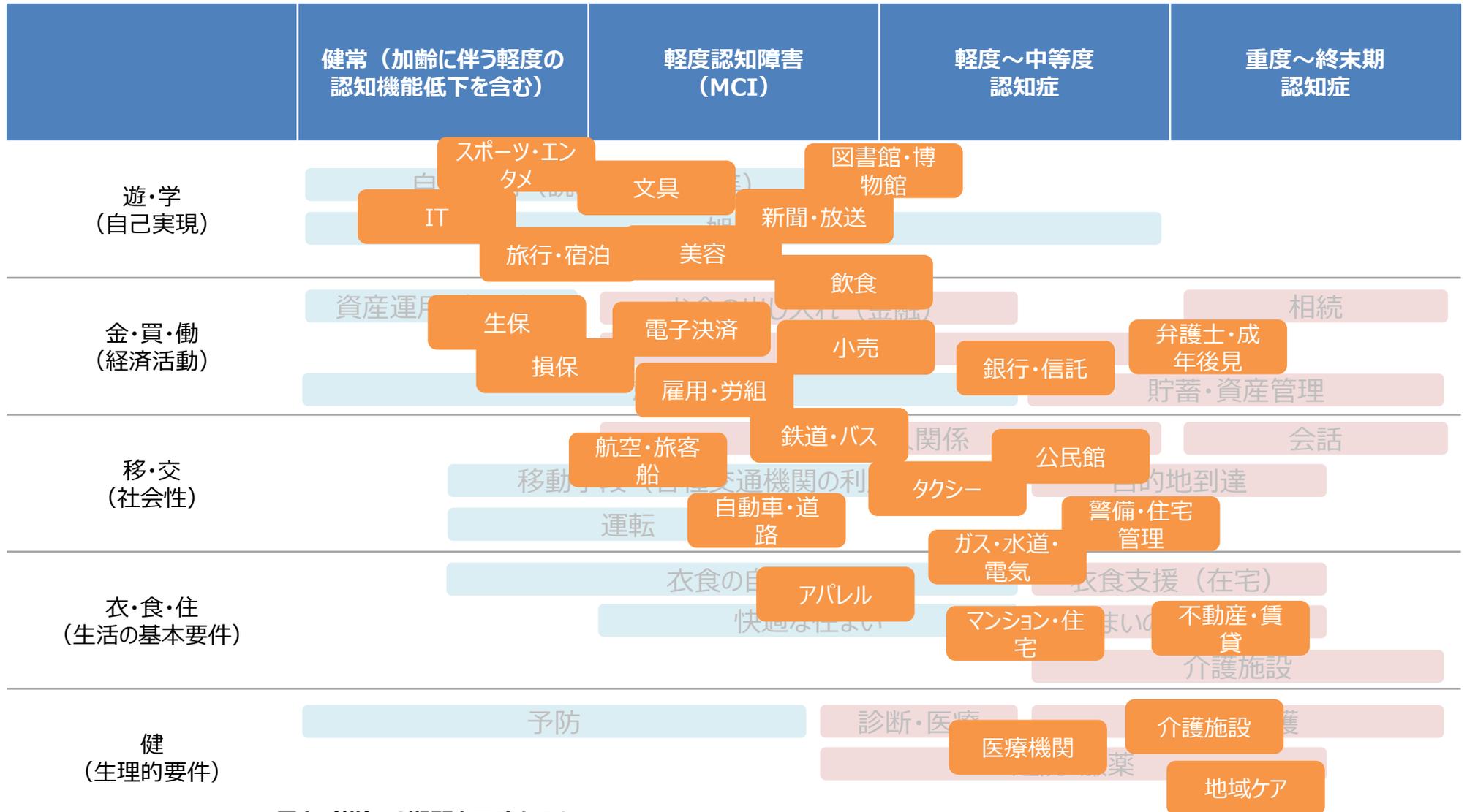


(参考：認知症未来共創ハブの当事者11領域180の生活課題をもとに作成)

ステークホルダー毎の課題の特徴

認知症の人との接点が想定される業界・団体

- 地域（生活に関わる事業者・団体等）にとっての介護課題・ニーズをマップ上に整理。認知症の人のあらゆる生活課題との接点において関わりがある。→**ケーススタディを作成**

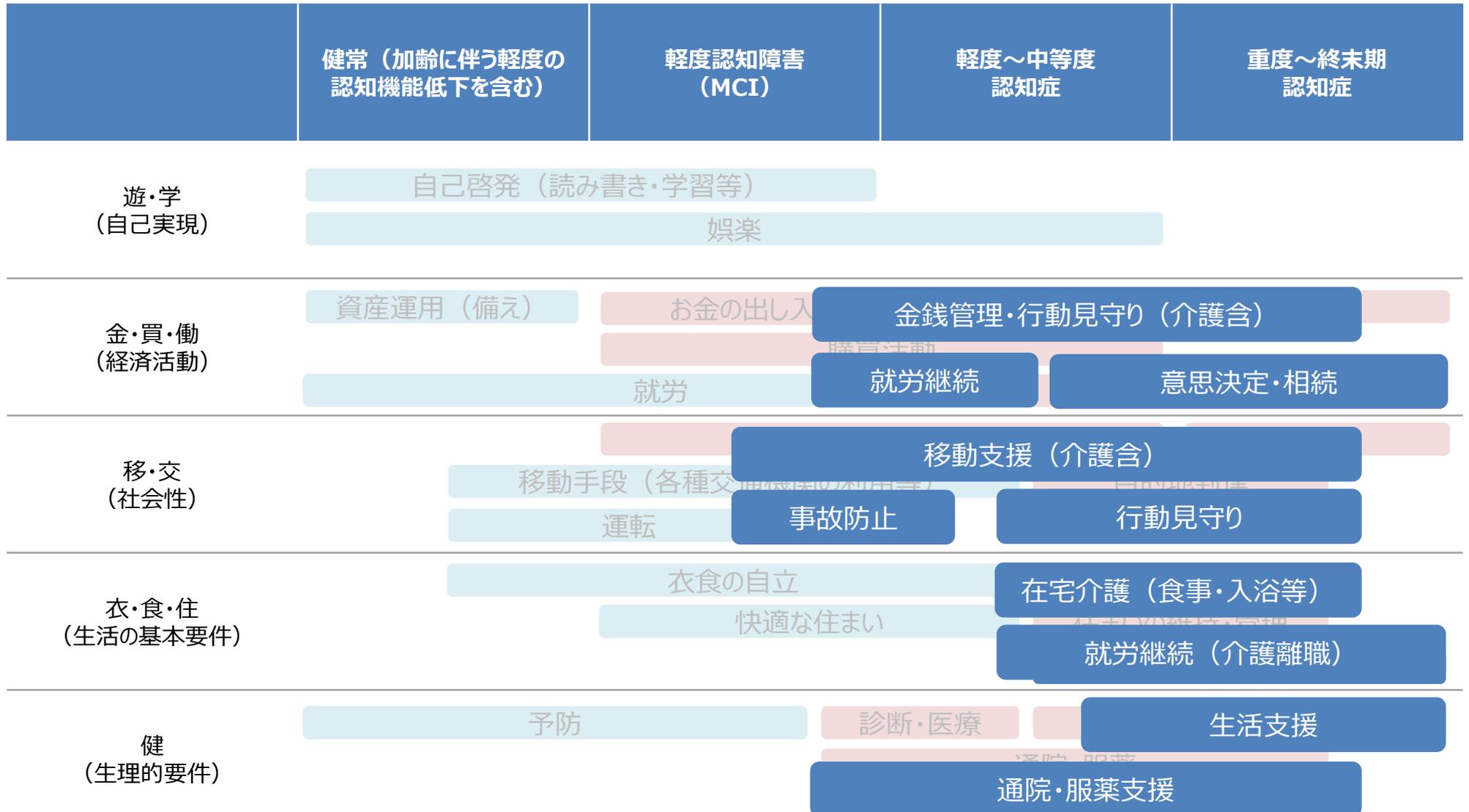


※長さ（横）は期間を示すものない

ステークホルダー毎の課題の特徴②

在宅介護者の困りごと・定性的ニーズ

- 在宅介護者にとっての介護課題・ニーズをマップ上に整理。認知症の人の介護場面でニーズが生じている。



ケーススタディー

【ケーススタディ】モデルケースA：生涯独身の方



- 女性、配偶者なし・妹2人（親は他界）

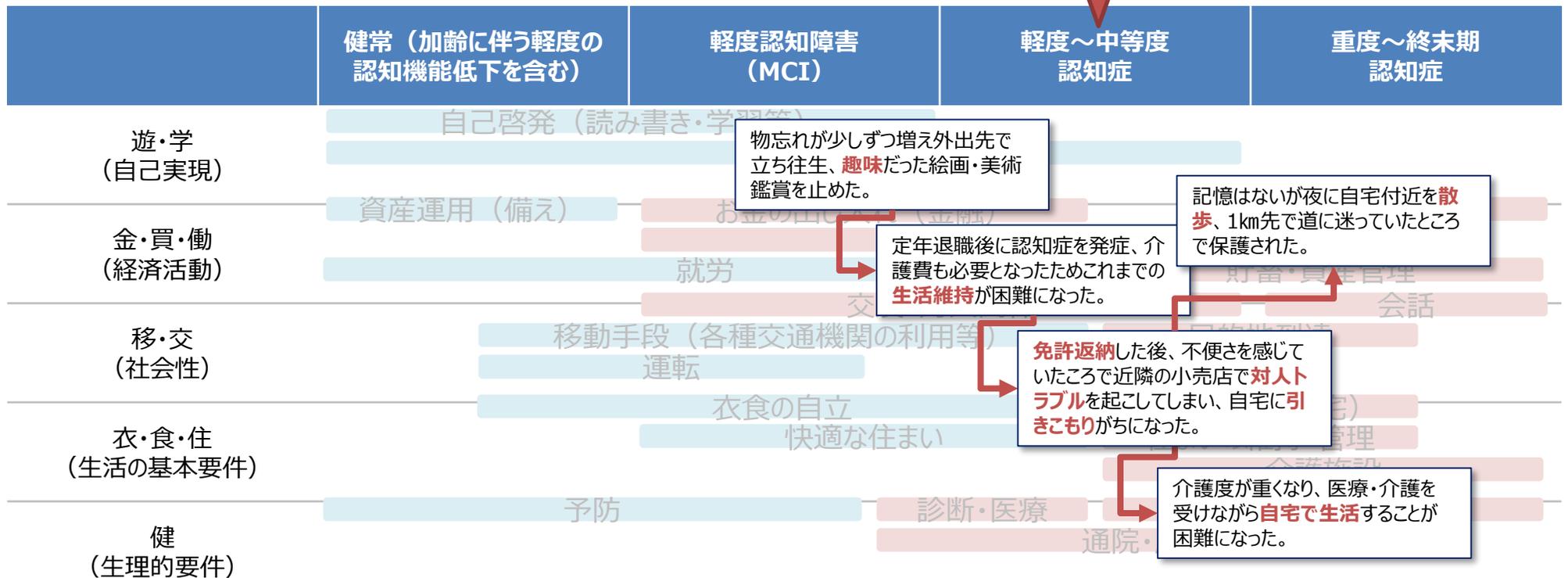
協力者：妹、友人、地域包括支援センター等

- 大阪府在住

自宅所有マンション居住、自家用車移動

【生活課題に関わるエピソード】

要介護認定



（参考：京都府立医科大学大学院医学研究科成本教授の資料を参考に、当事者11領域180の生活課題からエピソードを事務局にて作成）

【ケーススタディ】モデルケースA：生涯独身の方



- 女性、配偶者なし・妹2人（親は他界）

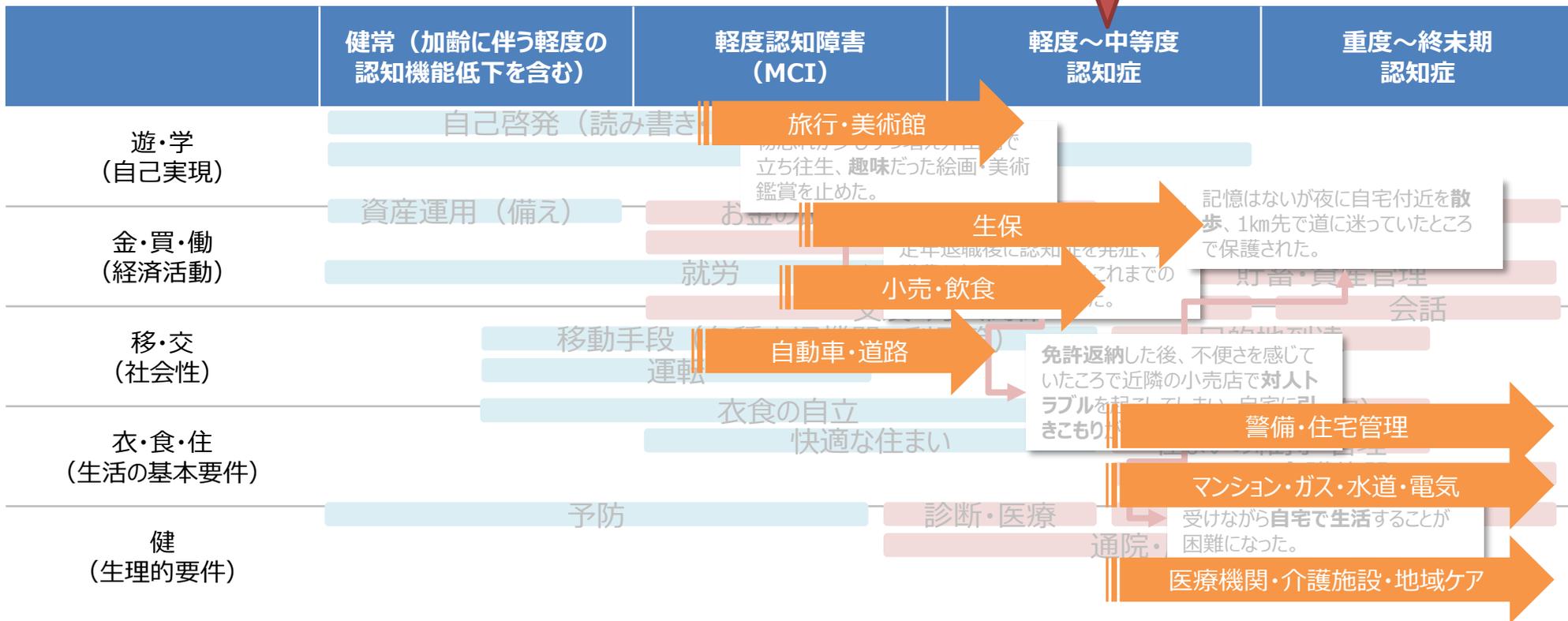
協力者：妹、友人、地域包括支援センター等

- 大阪府在住

自宅所有マンション居住、自家用車移動

【生活課題に関わるエピソード】

要介護認定



【ケーススタディ】モデルケースB：夫婦のみ（子供なし）



- 女性、配偶者のみ（子供なし）

協力者：配偶者

協力者：兄弟姉妹、地域包括支援センター等

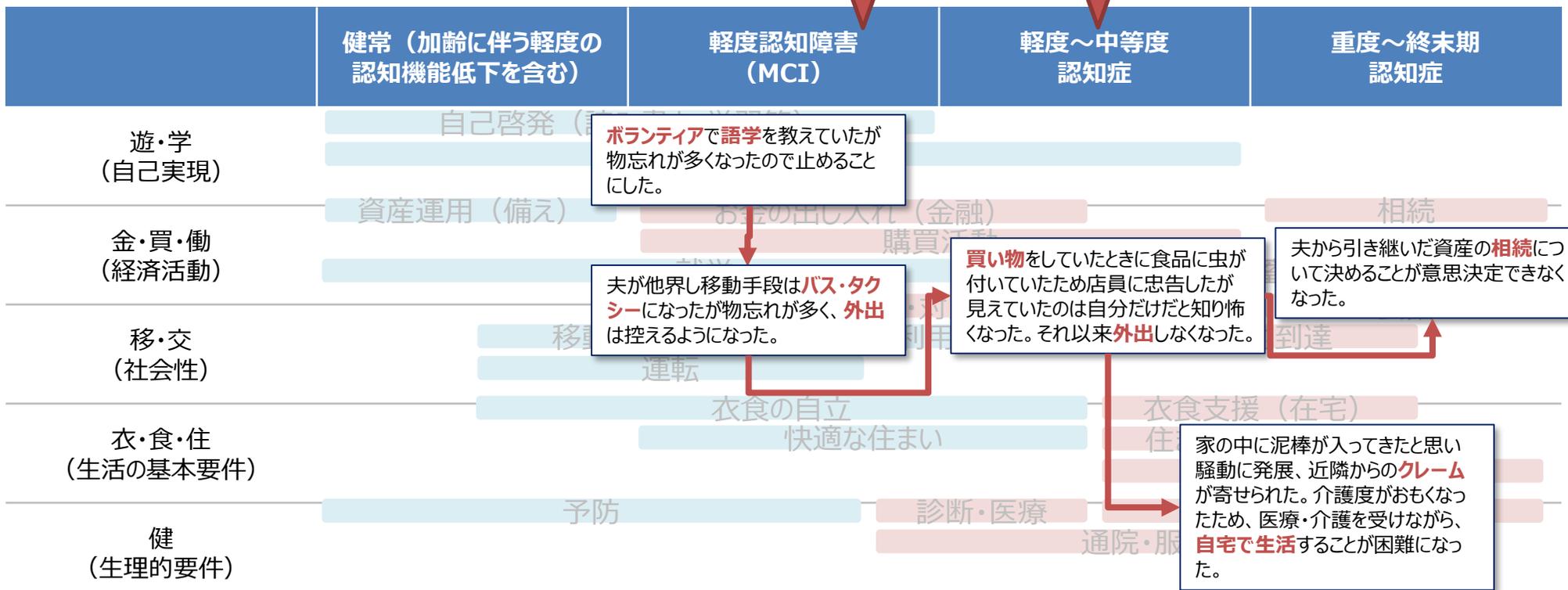
- 神奈川在住

自宅所有一戸建て居住、自家用車・公共交通機関移動

【生活課題に関わるエピソード】

配偶者他界

要介護認定



【ケーススタディ】モデルケースB：夫婦のみ（子供なし）



- 女性、配偶者のみ（子供なし）

協力者：配偶者

協力者：兄弟姉妹、地域包括支援センター等

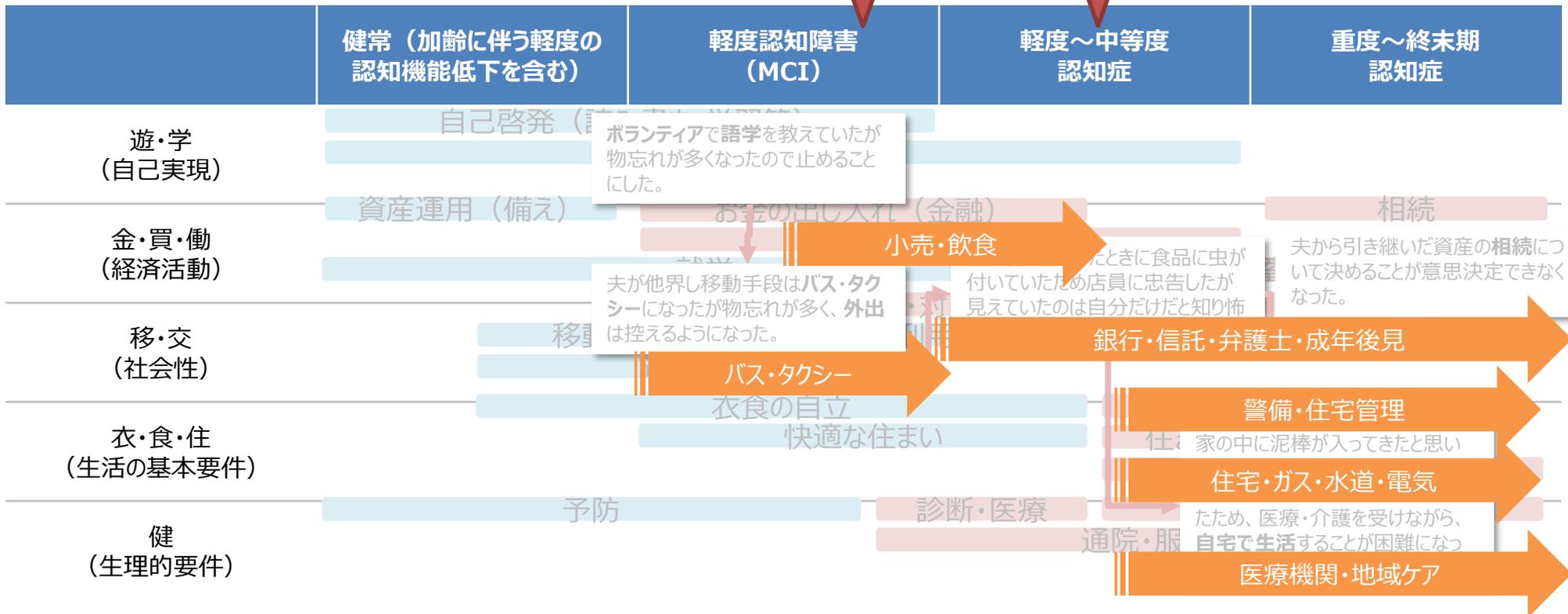
- 神奈川在住

自宅所有一戸建て居住、自家用車・公共交通機関移動

【生活課題に関わるエピソード】

配偶者他界

要介護認定



【ケーススタディ】モデルケースC：夫婦＋子供（非同居）



- 男性、配偶者・長男（非同居）

協力者：配偶者

協力者：長男

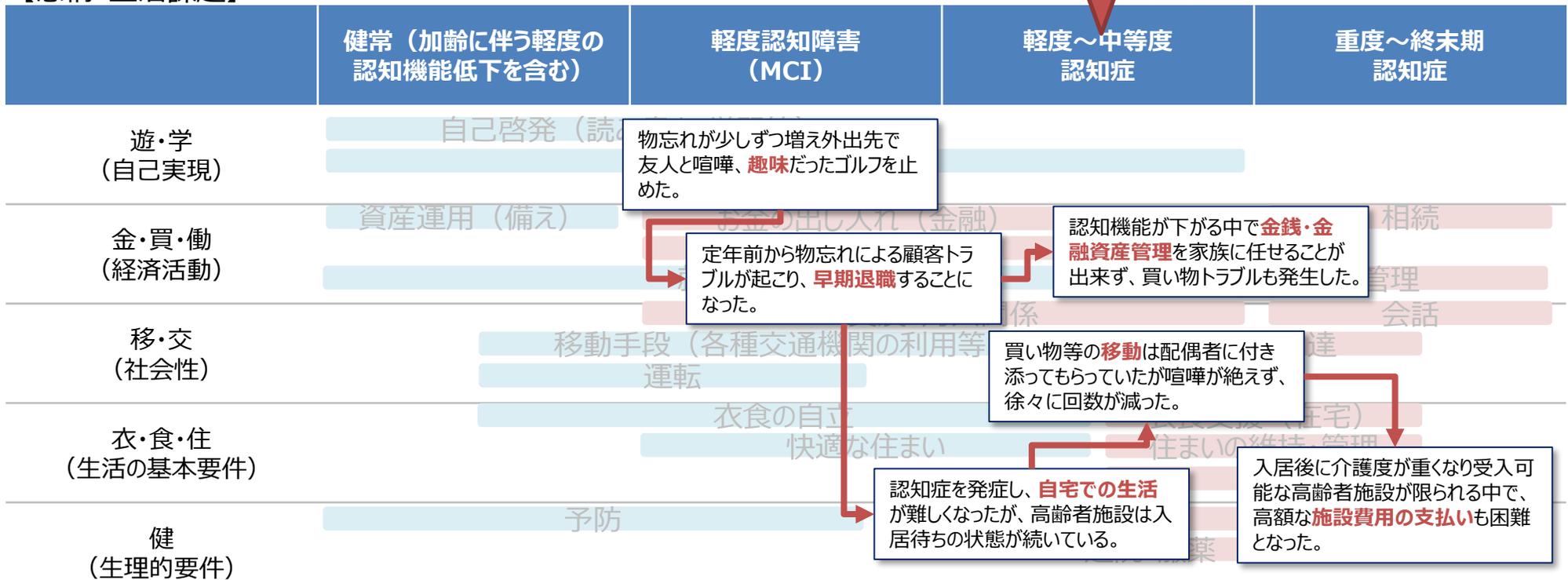
- 東京都在住

自宅所有マンション居住、公共交通機関移動

高齢者施設

【感情・生活課題】

要介護認定



【ケーススタディ】モデルケースC：夫婦＋子供（非同居）



- 男性、配偶者・長男（非同居）

協力者：配偶者

協力者：長男

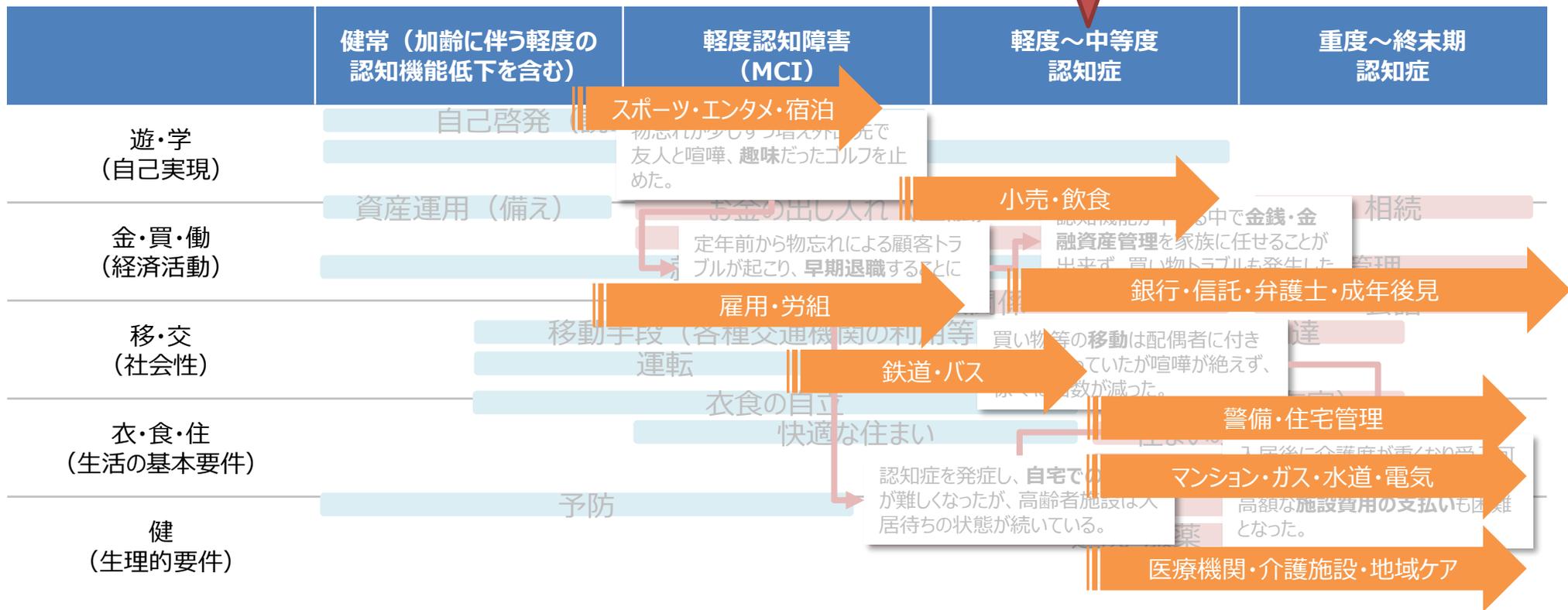
- 東京都在住

自宅所有マンション居住、公共交通機関移動

高齢者施設

【感情・生活課題】

要介護認定



【ケーススタディ】モデルケースD：夫婦＋子供（同居）



- 女性、配偶者・長女（同居）

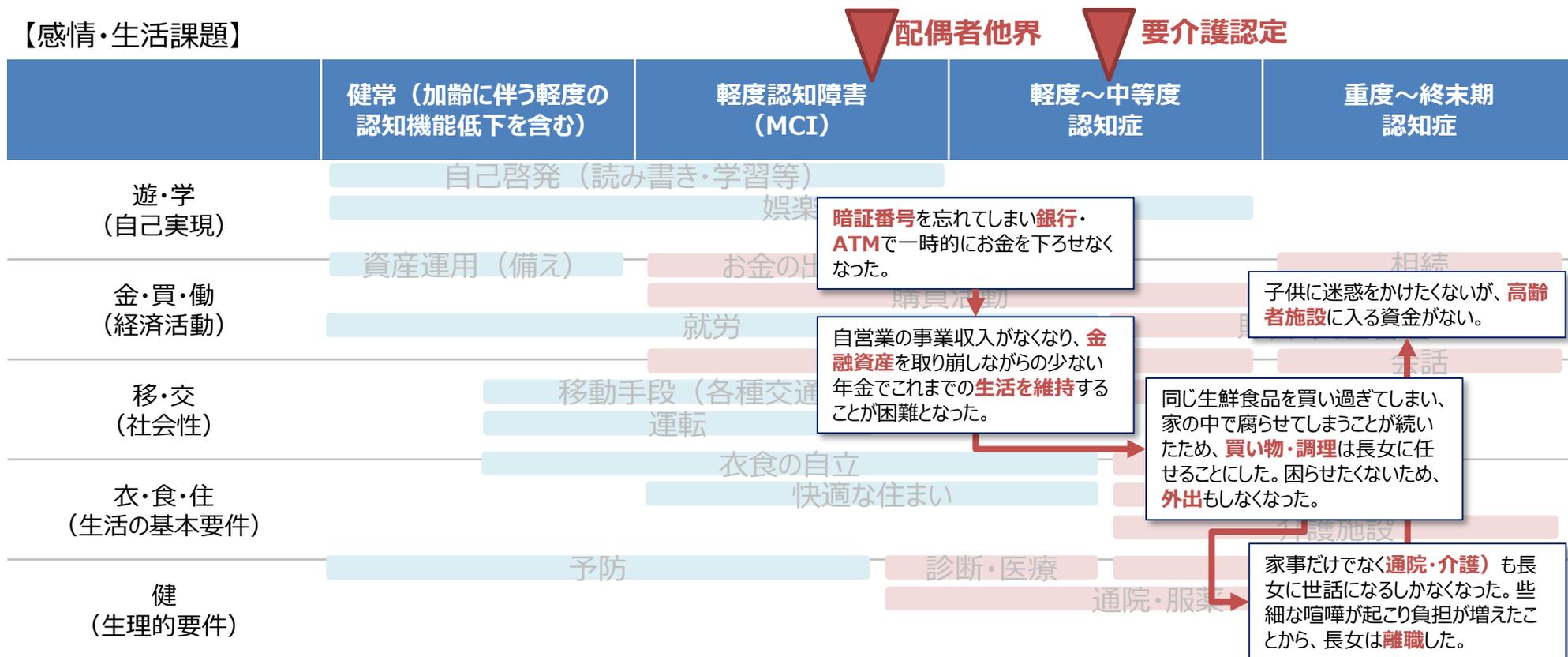
協力者：配偶者・子供

協力者：子供

- 愛知県在住

自宅所有一戸建て（二世帯住宅）、自家用車移動

【感情・生活課題】



【ケーススタディ】モデルケースD：夫婦＋子供（同居）



- 女性、配偶者・長女（同居）

協力者：配偶者・子供

協力者：子供

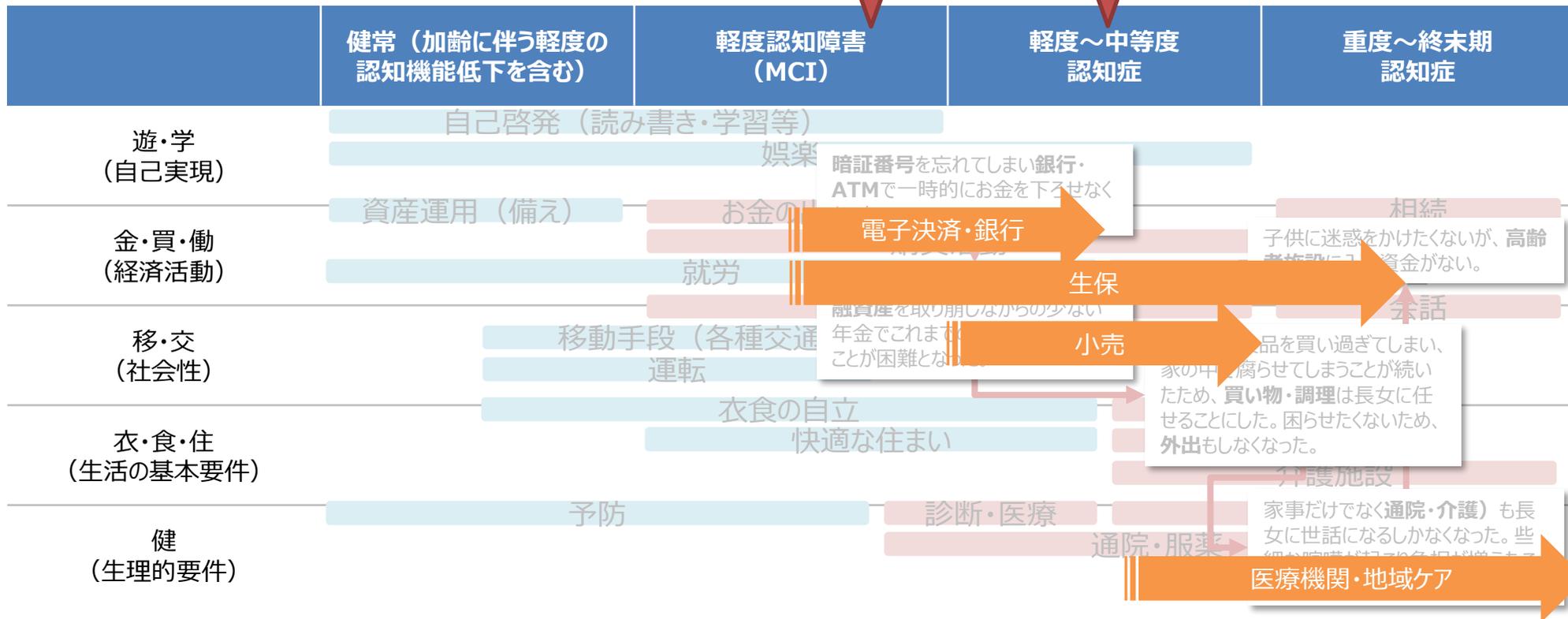
- 愛知県在住

自宅所有一戸建て（二世帯住宅）、自家用車移動

【感情・生活課題】

配偶者他界

要介護認定



本日の論点

- 本日は課題やニーズについて以下の論点についてぜひご議論させていただきたい。

① ニーズや課題について

- 課題・ニーズの整理として5段階の区分に問題ないか。また、各段階に抜けてたり、漏れていたりする課題・ニーズがないか。
- 関連するステークホルダーについて、抜けや漏れがないか。

② ケーススタディー

- ケーススタディーを参考として、実際に各委員が日々の取組の中で、認知症本人が感じている困りごとやそれに対応するうえで実際に感じているビジネス上の課題等についてご意見をいただきたい。
- 提示させていただいたケーススタディーの場合において、本人や周辺のステークホルダーに提供できるソリューションとしてどのような取組があり得るのかご提案をいただきたい。